

# 改憲論議 衆院選で一変



衆院の憲法審査会＝16日午前10時21分、国会内、上田幸一撮影

## 憲法審、岸田政権で審議スタート

衆院憲法審査会は16日、岸田政権になって初めての審議を行った。憲法改正に前向きな日本維新の会などが衆院選で議席を増やし、立憲民主党も「提案路線」にかじを切った。本格的な論戦は通常国会からになるが、政権与党の出方次第で開催の機会は増えそうだ。

「憲法は国民のためのものであり、国民のための議論を積極的にしていく」

衆院憲法審査会で、国民民主党の玉木雄一郎代表は、改憲論議を進める意義をそう訴えた。日本維新の会の馬場伸幸共同代表も「(各党は)具体的な憲法改正項目を提案するべきだ」と呼びかけた。

衆院憲法審はこれまで、拙速な改憲に反対する立憲や共産などが、改憲論議を急ぐ自民党などに対立してきた。今年6月には改憲の

手続きを定める改正国民投票法が成立したが、CM規制などの取り扱いをめぐる各党の見解は割れる。

「2020年の新憲法施行」を掲げた安倍政権が終わり、野党勢力の警戒感も薄らぐなか、衆院選を経て野党の立ち位置も変化し

た。改憲論議に前向きな維新、国民民主党が伸長し、立憲と共産はともに議席を減らした。追及一辺倒との党

の印象が敗因の一つとする立憲の泉健太代表は、「提案型」への転換をめざしており、議論そのものを拒む印象は与えたくないとの思

惑もある。

立憲の奥野総一郎・野党筆頭幹事は憲法審で、「現行憲法を尊重しない与党が憲法改正を語る資格はない」と主張したが、「必要な議論はしっかりと行っていく」とも付け加えた。

(小手川太朗、横山翼)

## 国民投票CM? 4項目? 最初の議題は

審査会での議論はどう進んでいくのか。

改正国民投票法の付則に

は、憲法改正案への賛成や反対をよびかける国民投票運動中のCMやインターネットの規制のあり方について議論することを盛り込んだ。立憲はこの議論を進めない限り、具体的な改憲項目の協議はできな

いとしており、これが最初の議題となる可能性があらう。

一方、9条への自衛隊明

記や緊急事態条項の創設といった、安倍政権下で掲げた改憲4項目などで具体的な議論を進めたい自民や維新は、「CM規制の議論とは別に、改憲原案の審議も発議も可能」と主張する。

ただ、来夏には参院選を控えており、それまでは慎重に対応すべきだとの意見も与党内にはある。

16日の審査会でもテーマごとに「分科会」を設置して議論を始めるべきだという複数の意見が上がったが、立憲は「拙速だ」と反対し、引き続き話し合うことになった。(横崎貴司)